

それぞれのやさしさ

継続は「力」なり：

あつあつ鍋で温い夜を

第三回川内町身体障害者協助会との交流

会が、十一月二十五日に行われました。

準備の段階から心はずませ、楽しみにしていましたフリー・トークやゲーム……。入所者と共に興じた時間は、あつという間に過ぎてしまい、名残りおしく終了しました。

「八十才だから、まだ若い。」「人間、思いきったことをせないかん。」という言葉も飛び出したりと、日々がんばっておられることを、語り合い、喜び合えるとても楽しい一日を過ごされたのではないでしょうか。

協助会の皆

さん、今度は散歩がてら、気軽にホームへいらして下さいね。楽しんで下さる待ちしています。

まだまだ未熟な私達ですが、福祉の心「ハート」を大切に、継続は「力」なりを念頭に、一つの小さい光に向かって頑張っています。



主任 審母 山下 清香

去る十月八・九日の両日、高知県にて開催されたこの大会には、中、四国の二十七の全ての療護施設が参加し、私は第三分科会（テーマ・利用者の個別処遇を高めるにはどうするか）に発表者として出席させていただきました。

発表の内容は、現在取り組んでいるグループ担当制について。これに至る三年間の処遇の移り変わりを中心に、職員の資質向上を目的とした自主参加の三つの勉強会と、組織内研修の六つのプロジェクトについて。今までの「暗中模索」からヨチヨチ歩きですが、「試行錯誤」と言う言葉があるはまる様になるまでの悪戦苦闘を報告させていただきました。

これに対し予想以上の反応があり、現在の取り組みの方向の正しさを体感してきました。



栄養士 西森富美枝

秋風も去って、木枯らしが吹き始めると、鍋料理が恋しくなります。寒い夜などに、あつあつの鍋料理を食べるおいしさは最高の御馳走で、日本の良さをしみじみと感じる時なのでは？

鍋物は、栄養的にもバランスのとれた、すばらしい料理です。大きな土鍋に、好みの材料をポンポン放り込んで下さい。一人で、おいしいお鍋の出来上がりです。材料を工夫して、あなただけの鍋料理にチャレンジしてみては？